

## 令和 2 年度 第 1・2 回 合同番組審議会 議事録

### 1 開催年月日

令和 2 年 9 月 18 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分ごろ

### 2 開催場所

砺波市太郎丸 2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

### 3 委員の出席

委員総数 5 名

出席委員数 5 名

出席委員の氏名（◎委員長）

- ◎ 館 俊博 (73 歳、男、砺波市文化協会会長)
- 小幡 豊 (71 歳、男、砺波市文化会館館長)
- 安達 陽子 (47 歳、女、木彫刻家)
- 池田 麻衣子 (47 歳、女、株式会社三喜有常務取締役)
- 大谷 忠史 (43 歳、男、砺波商工会議所青年部会長)

放送事業者側出席者名

- 河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)
- 古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役業務部長)
- 高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

### 4 議事の概要

社長の挨拶に続き、放送番組についての説明の後協議へ。

その後は、番組編成などについて意見交換を行った。

### 5 議題

#### 1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

- ・ラウンジチェアスタイル (2020 年 7 月 27 日 (月) 放送)

毎週月曜午後 6 時から放送。

アートユニット **neutral production** がゆったり聴くことができる心地よい音楽を紹介する 30 分のプログラム。

コロナ禍の中、一部の番組では自宅収録やリモート収録を行っている。この番組も 2

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

人の自宅をリモートで繋いで収録している。

今回はさらに DJ アライグマさんをゲストに招いて 3 人でクロストークを行っている。

(パーソナリティ：netral production 藪陽介・畠山雅弘)

・土曜はひねもすラヂオ (2020 年 8 月 22 日 (土) 放送)

毎週土曜午前 11 時から午後 1 時までの 2 時間の生放送番組。

ケーブルテレビでも同時生放送している。

タナベマサキと週替わりのアシスタントが、トークテーマを設けリクエストやメッセージを募って番組を進行している。

スタジオにゲストを招き、その時々地域の活動なども紹介している。

今回は、2 時間の放送からオープニング部分とゲストに小矢部市の IT 関連企業を招いた部分を抜粋した。

(パーソナリティ：タナベマサキ、アシスタント：中島有希永)

2. 番組編成に対するアドバイス

3. その他

6 審議内容 (各委員の発言を要約して箇条書きで記載)

【小幡副委員長】

・「ラウンジチェアスタイル」について

リモート収録は違和感なく聴けた。リモートもラジオならばいいなと感じた。

見えない分、リモートと言われないと気付かないかもしれない。

こういう方法を取り入れて、新しい在り方も考えてほしい。

DJ アライグマさんの選曲は自分の分からない分野だった。若い人の意見を聞いてみたいと思った。

・「土曜はひねもすラヂオ」について

地域の文化活動、企業活動、ユニークな人、頑張っている人を紹介していて、大事に続けてほしい番組。

番組への理解者が増えて、応援してもらえるような番組に成長してほしい。

パーソナリティとゲストの声 (音量) のアンバランスが気になった。もう少し調整すれば聴きやすいのではないかな。

【池田委員】

・「ラウンジチェアスタイル」について

リモート収録だからか、相手が喋るのを待っている感じが少し気にはなったが、概ね違和感はなく聴けた。

リモート収録であれば世界中の人に出演してもらえるという発言があったが、リモートを生

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

かして様々な人をゲストに招いて番組を展開してほしい。  
音楽に関する説明がもう少しあると分かりやすいのではないかと感じた。

- ・「土曜はひねもすラヂオ」について  
タナベさんのトークが軽快で楽しく聴けた。  
コロナ対策、熱中症など時節の話題も盛り込まれていてよかった。  
ゲストの方が話題豊富だったので、ポイントを絞った方が分かりやすかったのではないかと感じた。

#### 【安達委員】

- ・「ラウンジチェアスタイル」について  
リモートはあまり気にならず聴けた。  
3人の時間を垣間見ているような気分になる番組だった。  
ゲストがいない回も聴いてみたいと思った。
- ・「土曜はひねもすラヂオ」について  
タナベさんのトークはスムーズでゲストの話をうまく引き出していた。  
スマホ教室、パソコン教室といった地元企業の取り組みを紹介していて、地域に根差した番組なのだなと感じた。

#### 【大谷委員】

- ・「ラウンジチェアスタイル」について  
県内のメディアではなかなか紹介しないような楽曲を取上げていて、おもしろいなと思った。  
今回はゲストの選曲だったので、本来の雰囲気とは少し違うのかなとも感じた。  
リモートは違和感なく聴けた。リモートが負になっていなかった。  
コロナ禍でリモート会議も多くなった。ZOOM等はクロストークが難しく、一方通行にならないVRを試してみようと考えている。ラジオで使えるかは分からないが、いろいろ試してみてもどうか。
- ・「土曜はひねもすラヂオ」について  
「ながら」で聴いてみた。パーソナリティのトークは軽快でよかった。  
コロナや熱中症にふれていたが、同じような発言になることが多い中、考え方をええようとしている感じがよかった。  
ゲストとの話も聴きやすかった。
- ・番組編成について  
自宅で過ごす時間が増えて、L I V E配信をしている。ラジオを聴く時間も増えるのか、今後の流れが変わる時なのかもしれない。そういう流れも意識した番組編成、番組作りを考え

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

てほしい。

**【館委員長】**

- ・「ラウンジチェアスタイル」について

リモート収録は違和感なく聴けた。

砺波でもラジオ番組がリモート収録になるほどコロナの影響を受けているのか、これからの文化活動はどうなっていくのかと思った。

リモートなど新しい道ができるかもしれないとも感じた。

- ・「土曜はひねもすラヂオ」について

面白く、楽しく聴くことができた。

ゲスト企業の「おやべ型1%まちづくり事業」、いろいろ工夫されているんだなと感じた。

地域おこしという情報を聴けてよかった。

- ・番組編成について

地域で頑張っている人、面白いところに目を付けている人など紹介してほしい。

リモートなど新しい方法を活用した番組作りも模索してほしい。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・「土曜はひねもすラヂオ」

出演者の声のバランスに気を付けるよう担当者に指示した。(2020年9月25日)

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和2年9月19日付北日本新聞朝刊に記事を掲載。

FMとなみのHP上でも議事録を公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------